



## 杉の杜学舎に頼もしい新人現る。

はじめまして！ 1月から杉の杜学舎でお世話になってます寺田菜穂子（てらたなおこ）です。学校を出たての女子を連想するなかれ、現在32歳です。写真（上）は2年前のものです。大阪府摂津市出身、高校卒業後長野県の信州大学農学部森林科学科に入学。森林科学科の施業経営学研究室を卒業後、長野県の上伊那森林組合に作業班員として就職し、4年間働いた後退職、個人事業主になりました。2年程里山で放置されている山の森林所有者に声をかけ、山作業を行ってきました。今年1月結婚し、岐阜に住むことに決めました。運よく2月に子供に恵まれ、今お腹の中では小さな命が順調に育っています。

珍しかった女性

拡大造林時期は植林などで女性が活躍しましたし、80年代頃から林業界への女性の進出も話題になり始め、

# そまのり

NPO法人  
杉の杜学舎  
SOMA NO MORI GAKUSYA  
SINCE 2002

新しき杉人たちの羅針盤  
第15号

平成22年4月15日発行

〒501-3781 美濃市片知 1109-4

森づくり片知支援センター内

TEL & FAX 0575-37-2115

<http://www.somanomori.or.jp/>

mail: [info@somanomori.or.jp](mailto:info@somanomori.or.jp)

はじめまして！

杉の杜学舎 スタッフ

寺田菜穂子

現在では県や国の職員にも女性が増えてきました。しかし、作業現場では若い女性はやはりまだ少数です。山仕事を始めた当初は「なぜ女性なのに林業に興味をもったの？」と良く聞かれました。森林組合の中でも女性の作業班員は初めてで、周囲も戸惑うところもたくさんあったと思います。それでも私が山仕事を続けてこられたのは、周囲が私に機会を与えてくれたからに他ならないと思います。

必死だった半年

昔から体力はありましたが、始めの2ヶ月程度は、ただただ中学生の男子のように食べ、寝ました。夜8時から寝ていたことも良くあります。

山仕事を始めてまず大変だったのは、体力より道具の使い方でした。大学で実習はありましたが、それは知識としてで実践向きではありません。私はのこぎりやナタもまともに使えませんでした。一方、同期入社男性3人（20代前半2人、30代1人）は皆地元出身者で、幼い頃からの林業経験のある人もいました。体格も良く体力もありました。私が作業中にチェーンソーのねじを落としてしまうと「整備不足だね」とからかわれたりしました。私が驚いて木を動かそうとしていると、後ろから「よい！」と持ち上げられたり（持ち上げてくれたり）、枝をまとめる仕事をしているとそれをとられたり（代わってくれたり）ということが重なりました。性格のいいさっぱりとした気持ちの良い同期でしたが、コンプレックスがストレスとなって溜まっていきました。4人揃って事務所に行く、「良くがんばるね。」と私だけ声を掛けられたりするのプレッシャーとなっていました。当時は同期の男性に負けたくないという思いも強くありました。

仕事を休んでしまった日

とうとう半年目に月経が仕事日に重なったとき、暑いのと体力の限界でイライラして同期に当たってしまい、仕事に行きづらくなって生理痛を理由に1日休んでしまいました。

山仕事そのものはとても好きでした。汗を流すことや段取りを考えること、仕事が単一でないこと、自分がした結果が必ず目に見えること、毎日自然の移ろいを肌で感じるなど全てが求めていた仕事だと感じていました。

しかし、自分だけが認められていないとも感じていて孤独感でいっぱいでした。

休んだ日の夕方、尊敬する先輩が部屋を訪ねてきてくれて、唐突に今日の自分の失敗談を語ってくれました。また夜には同期の1人が部屋にきてくれて、明日はおいでと誘ってくれました。製材所のおじさんはしし鍋をこちそうしてくれました。もっと上の先輩は「自分の殻に閉じこもりたいたときもあるけど、人を排除したらあかん」と叱ってくれました。



当時同期4人で教えてもらっていた親方は私を特別扱いすることはありませんでした。でも常に自分の娘のように思っていてくれ、次の日仕事に行くと「休むのはええけど皆に言っておからや」と許してくれました。親方からすれば、女性の月経の話を聞くなんで始めての体験で本当に困惑したと思います。

いま考えると恥ずかしいことですが、自分だけが特別自分だけが苦労しているという思いがあり、人間関係が空回りしていたんだろうと思います。

必死さがなければ今がない

しかし、その期間がなければやはり、今もないと思います。必死に取り組んでいた時期があったからこそ、人並みには道具も使えるようになり、体力もついたのだと思います。

3年目までは、女性だからできないと思われたくないという気持ちもかなりありました。女性「機械操作、女性」事務作業と思われたくないと思われ、そういう仕事からはできるだけ遠のくようにしていました。むしろ力仕事（チルホールを担いでいって引いたり、杭をうつたり）を率先してやりました。それでイライラしたり、必要以上に頑張りすぎたりもしたと思います。しかし4年目からそういう気持ちはほとんどなくなってきました。「自分でできることをすればいい」と口癖のように言っていたことが、本当にそう思えるようになってきたのです。それまでは作業内容にこだわっていた気持ちがあるんことをしてみたいと思えるようになりました。機械操作もしたいし、施業計画を立てたり、営業もしてみたい。木材加工にも興味がわきました。

独立して、酒造の山を任せてもらえることになりました。30ha（45箇所）ほどの山の位置を見つけて境



界を明確にし、材積を測り財産を明らかにし、必要なら作業を行いました。その過程でも多くの人に手伝ってもらえ、仕事を任せてもらえました。

農学部の子生たちと「伊那守」（信州伊那谷の山を守るということ）で命名」というサークルを作りました。一緒に測量して鋏で作業道を作ったり、間伐した木の売り先を探して製材所に電話したり、バケツリレーで薪を運び出したりしたのも楽しい思い出です。

そういう思い出の多い長野県でしたが、子供を産み夫と一緒に暮らすために岐阜県にきました。

そして本当に幸運なことに柚の杜学舎を紹介していただき、美濃の山で生きていく夢が広がっています。山師としてはまだまだ修行中ですし、わからないことだらけですので、皆さんにご教授いただきながらがんばりたいと思っています。

今後とも、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



## 【事業報告】2009年度

### 間伐事業

昨年度は、美濃市片知地区を中心に約28ヘクタールの間伐を完了しました。予定面積の40ヘクタールの実施が達成できませんでした。今年度も引き続き間伐事業を実施していきます。



間伐で蘇る人工林

### 岩陰遺跡(港町)散策道の整備事業

美濃市港町にある岩陰遺跡(市の文化財に指定)の散策道の整備を実施しました。この遺跡は縄文時代草創期の遺跡らしく、清泰寺山北麓に所在し、長良川と接する北側崖下にあります。港町の急坂の登り口に入口の看板があり、民家の庭先を通り抜けていくと遺跡にたどり着きます。整備前の状況は、草が生い茂り、樹木と竹が鬱蒼と茂っており、訪れる人の半数以上が途中で引き返すような怖い散策道でした(マムシも出るそうです)。



岩陰遺跡の進入路と樹木を整備

今回は、樹木と竹を整理伐採し、伐採した枝葉をチップ処理して歩道の整備をしました。また入口の歩道は砂利を敷いて歩きやすくしました。近くに行った時は是非立ち寄ってみてください。

尚、この整備は美濃市森林ボランティアクラブのメン

バーの皆さんの協力を得て実施しました。

### ふくべの森遊歩道整備事業

片知・ふくべの森の遊歩道の除草・除伐と展望台の補修を行いました。ふくべの森の駐車場よりも奥に展望台への遊歩道の入口があります。長年、除草作業が行われていなかったので、笹が生い茂り入口もわからないほどでした。瓢ヶ岳への登山者も駐車場手前の登山道を利用する方がほとんどでこちらの遊歩道はあまり使われていないようです。というか、草が生い茂って使えなかったのですが、瓢ヶ岳からの帰りのルートとして利用するとこちらの方が展望がいいです。また、紅葉の時期の散策コースとしても1時間ほどで周回できるので利用してみてください。



展望場所の修景伐採

尚、この整備は森林文化アカデミーの学生さんの協力を得て実施しました。

### 市内竹林 山林整備事業

上河和地区の長良川河川敷(神母橋周辺)の竹林の伐採作業と立花地区の鹿苑寺地藏堂(六角堂)参道の伐採整備を実施しました。上河和地区では自治会を中心に長良川河川敷の景観整備活動を実施しています。かつては竹を活用したり、タケノコを採ったりと活用しながら竹林が整備されてきました。しかし、近頃では竹林の活用がなくなると同時に竹林の荒廃も進んできています。今回、利用されなくなった荒廃竹林は伐採や間引きによ

り整備し、地域景観としての価値を高め、地域で地域の景観を保全する活動を進めています。このような地域住民による地域景観の維持のための地道な活動が地域を愛し、地域の存続につながることを期待しています。

また、立花地区の鹿苑寺の参道の整備を合わせて実施しました。国重要文化財(重文)・鹿苑寺地藏堂(六角堂)に所蔵されている秘仏・地藏菩薩(ぼさつ)立像(県重文)が21日、16年に一度の御開帳を迎え、伝統の「桜曳(び)き」が行われたそうである。次に見られるのは16年後です。見に行けばよかったですと後悔していません。



荒れた竹林を整備



整備された河川敷

尚、この整備は美濃市森林ボランティアクラブのメンバーの皆さんの協力を得て実施しました。

### 小倉山環境整備事業

美濃地区地域づくり委員会からの委託で、小倉公園の景観整備を実施しました。小倉公園は社の杜学舎がライフワークとして整備を進めてきた公園でもあります。作業は伐採による景観整備とヒノキの高木の枝おろし作業を中心に行いました。枝おろし作業は、我々の仲間である「森づくり工房キックリング」の稲垣さんと社の杜学舎に1月からスタッフとして仲間入りした寺田菜穂

子さんがアーボリカルチャー（高所特殊伐採作業）という樹上作業の技術を使って、枝おろしをしてくれました。華麗なる女性アーボリストの技をギャラリーも感心して眺めておりました。



木の杜学舎の頼もしい新人  
寺田菜穂子さんの枝おろしの技（すげー奴が来た。）

尚、この整備は美濃市森林ボランティアクラブと美濃地区地域づくり委員会のメンバーの皆さんの協力を得て実施しました。

### 山村再生プラン事業

片知の森林を管理する片知公園造林管理委員会の企画で、山村再生プラン「森林資源の新たな活用と新たな担い手による片知の森づくり事業」を実施することになりました。木の杜学舎として、地元住民によるチェンソー講習会やイベントの実施。報告書の作成のお手伝いをしました。作成した報告書をもとに今後の片知の森づくりについて検討し、地域ぐるみで片知の森づくりを実践していく予定です。



地元対象のチェンソー講習

### 美濃市「森の環境づくり推進委員会」

木の杜学舎が事務局を務めます当委員会の「里山景観林整備推進部会」では、「以安寺山活用プロジェクト」「上河和・長良川竹林整備プロジェクト」「片知の森づくりプロジェクト」の3つのプロジェクトを中心に活動をしました。



分収契約に関する地元報告会

特に、片知の官行造林地の分収契約問題に関して、委員会メンバーで地元と森林管理署との調整役をつとめ、契約履行による大面積皆伐を避け、一部の官行造林地の持ち分を買取することに合意できました。今後も残された分収造林地を徐々に地元に戻し、地域の山を地域が守っていく仕組みづくりを考えていきたいと思っております。

(鈴木 章)

### 【編集後記】

今年に入って、事務所に2人の来訪者があった。1人は巻頭の記事を書いてくれた寺田菜穂子さん（30代）、もう1人は澤田和弘さん（20代）です。2人とも後に、木の杜学舎の仕事を手伝ってもらえることになりました。世代と性別を乗り越えたと見えてくるものがあることに気がつかされました。それに気付かせてくれた2人にはとても感謝しています。色々な林齢、色々な樹種があるほど森林が豊かであるように、組織も色々な世代、色々な考えを持つ人が混ざった方が世界が広がるのかも知れません。それには普遍的な共通認識を共有するという前提はあるのですけれど。

(鈴木)

### 木の杜学舎 収支報告（平成19年度～平成21年度） H21年度の金額は概算

科目・概要	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	金額		金額		金額	
<b>経常収入の部</b>						
1 会費・入会金収入	94,000		107,000		120,000	
2 事業収入	14,038,356		14,058,191		10,889,605	
3 補助金・助成金収入	60,000		57,000		24,000	
4 寄付金収入	23,000		0		10,000	
5 その他収入	15,154		118,198		64,661	
当期経常収入合計		14,230,510		14,340,389		11,108,266
<b>経常支出の部</b>						
1 事業費	10,152,564		10,348,980		7,201,760	
2 管理費	3,442,009		3,825,734		3,683,976	
当期経常支出合計		13,594,573		14,174,714		10,885,736
当期経常収支差額		635,937		165,675		222,530
当期経常外収入	4,500,000		4,000,000		2,350,000	
当期経常外支出	3,117,094		5,291,383		2,484,598	
当期経常外収支差額		1,382,906		-1,291,383		-134,598
当期収支差額		2,018,843		-1,125,708		87,932
前期繰越収支差額	3,818,832		5,837,675		4,711,967	
次期繰越収支差額		5,837,675		4,711,967		4,799,899
主な事業	間伐事業		間伐事業		間伐事業	
	以安寺山景観形成整備工事		以安寺山景観形成整備工事		市内竹林・山林等景観整備事業	
	小倉公園森林景観整備事業		インタープリター事業		岩陰遺跡・ふくべの森整備事業	
	森林景観整備調査事業		新通販事業		小倉山環境整備事業	